

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品（製品）の名称：ファインシェード標準タイプ（エマルジョン）
推奨用途及び使用上の制限：農業用吹き付け遮光剤 それ以外の使用はしない
供給者の会社名称：アキレス株式会社 フィルム工場
住所：栃木県足利市借宿町 6 6 8
電話番号：0 2 8 4 - 7 3 - 9 8 9 0
ファックス番号：0 2 8 4 - 7 3 - 9 8 1 4
緊急連絡電話番号：0 3 - 5 3 3 8 - 9 2 9 2

（本社化成品BU農業資材販売部：月曜～金曜 平日午前 9 時～午後 5 時）

2. 危険有害性の要約

<GHS分類>

眼に対する重篤な損傷、眼刺激性：区分 2

<GHSラベル要素>

絵表示又はシンボル



注意喚起語：警告

危険有害性情報

・ H319 強い眼刺激

<注意書き>

【安全対策】

- ・ P280 取扱の際には、保護手袋、保護眼鏡、保護マスク等保護具を着用すること。
- ・ P264 取扱後は、手洗い、うがい等を行うこと。

【緊急時対応】

- ・ 305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
- ・ P337 + P313 目の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物質・成形品の区別：混合物

成分情報 (化学名又は一般名)	CAS No.	含有量(%)
炭酸カルシウム	471-34-11	40.0～50.0%
変性スチレン・アクリル系樹脂	収録あり	8.0～10.0%
アンモニア	1336-21-6	0.1%未満

イソプロピルアルコール	67-63-0	1.0%未満
2-(2-エトキシエトキシ)エタノール	111-90-0	3.0%未満
プロパン-1, 2-ジオール	57-55-6	3.0%未満
水	—	40.0～50.0%
その他	収録あり	3.0%以下

GHS分類に寄与する : 情報なし
不純物及び安定化添加物

4. 応急処置

- 皮膚に付着した場合 : 石けんを使用しきれいな水で洗浄する
皮膚刺激があれば医師の診断を受ける
- 吸入した場合 : うがいをし、新鮮な空気を十分吸わせる
気分が悪い場合は医師の診断を受ける
- 眼に入った場合 : 直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗う
眼への刺激が持続する場合は医師の診断を受ける
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、そして200～300mLの水を飲む。
その後、医師の診断を受ける

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水、粉末、二酸化炭素、泡消火剤を推奨
- 使ってはならない消火剤 : 該当なし
- 火災時の特有の危険有害性 : 該当なし
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : マスク等（場合によっては呼吸保護具）を着用し、
直接接触を避ける。消火活動は風上から行う。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 状況に応じて保護具（呼吸用保護具、手袋、長靴、眼鏡、マスク）を着用し、当該物の吸入や直接接触を避ける。
- 環境に対する注意事項 : 床などにこぼした場合には直ちにウエスなどで拭き取り、少量の水で洗浄する。原液をそのまま河川に直接つながらる排水溝には流さない。ウエスは焼却処理する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 大量の場合、ポンプ等で容器に回収する
残渣の場合、ウエス等でふき取り、焼却処理する
- 二次災害の防止策 : 床に濡れた状態で放置するとスリップ事故の原因となるため、速やかに処理し、漏出物の上をむやみに歩かない
- 回収、中和 : 専門業者に依頼すること

7. 取扱い及び保管上の注意

<取扱い>

技術的対策

：「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の対策を行い、保護具を着用すること

局所排気・全体換気

：取扱いは換気のよい場所で行う。

安全取扱注意事項

：皮膚及び目への接触を防止するために、必要に応じて保護手袋、保護眼鏡等の保護具を着用する。取扱い後は手をよく洗うこと。
また、容器を転倒、落下させるような粗暴な取扱いをしない

接触回避

：特になし

<保管>

混触禁止物質

：特になし

保管条件

：凍結、高温、多湿、直射日光、火気を避けること。

安全な容器包装材料

：情報なし

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

：イソプロピルアルコール, 67-63-0;

CLV (ceiling limit value: 上限値) 980 mg/m³ ; 400 ppm
(日本産業衛生学会 許容濃度)

TWA (time weighted average: 時間加重平均) 200 ppm (ACGIHTLV)

STEL (short term exposure limit: 短時間 400 ppm (ACGIHTLV)

TLV(threshold limit value: 管理濃度) 200 ppm (労働安全衛生法(JP))

アンモニア水溶液, 1336-21-6;

TWA (time weighted average: 時間加重平均) 17 mg/m³ ;
25 ppm (日本産業衛生学会 許容濃度)

STEL (short term exposure limit: 短時間 35 ppm (ACGIHTLV)

TWA (time weighted average: 時間加重平均) 25 ppm (ACGIHTLV)

<保護具>

呼吸用保護具

：ミストを吸入しないようにマスク着用

手の保護具

：ゴム手袋

眼の保護具

：保護ゴーグルおよび保護面

皮膚及び身体の保護具

：一般保護衣服

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

：液体

色

：白

臭い

：僅かなアンモニア臭

pH

：8. 4 ~ 9. 1

融点・凝固点

：0℃ (溶媒の情報)

沸点又は初留点及び沸点範囲

：100℃ (溶媒の情報)

可燃性

：可燃性はない

爆発下限界及び爆発上限界 /可燃限界	: 情報なし
引火点	: 引火しない
自然発火点	: 自然発火しない
分解温度	: 情報なし
重粘性率	: 情報なし
n-オクタル/水分配係数	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
密度及び／又は相対密度	: 1.30～1.45
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	: 該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性	: 炭酸カルシウムは酸と反応して二酸化炭素を発生する
化学的安定性	: 通常の温度下では安定である
危険有害反応可能性	: 高温（約900℃）に加熱すると炭酸カルシウムが分解し二酸化炭素を発生し、酸化カルシウムとなる
避けるべき条件	: 高温、多湿、直射日光、約900℃の加熱
混触危険物質	: 酸類
危険有害な分解生成物	: 常温では分解性はない。ただし、高温における熱分解時にはスチレン等の低分子モノマー等および二酸化炭素、酸化カルシウムを発生する恐れがある
その他	: 乾燥時に含有するアンモニアが放出される

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 情報なし
急性毒性（経皮）	: 情報なし
急性毒性（吸入）	: 情報なし
皮膚腐食性/皮膚刺激性	: 情報なし
眼に対する重篤な損傷、眼刺激性	: 強い刺激性
呼吸器感作性	: 情報なし
皮膚感作性	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	: 情報なし
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	: 情報なし
誤えん有害性	: 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	: 情報なし
水生環境有害性 短期(急性)	: 情報なし
水生環境有害性 長期(慢性)	: 情報なし
水溶解度	: 情報なし
環境に対する有害性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
残留性・分解性	: 情報なし

土壌中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 専門業者に依頼すること
汚染容器・包装	: 十分乾燥したのち焼却する

1 4. 輸送上の注意

<国際規制>	
国連番号	: 該当しない
品名(国連輸送名)	: 該当しない
国連分類	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
<国内規制>	
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法等に定められている輸送方法に従う
海上輸送	: 船舶安全法の定めに従う
航空輸送	: 航空法の定めに従う
<特別安全対策>	: 輸送に際しては、直射日光を避け、荷崩れ防止措置を確実に行うこと。

1 5. 適用法令

消防法(指定可燃物 3,000 k g 以上の場合)	: 市町村条例を参照ください
含有している P R T R 第一種指定化学物質	: 該当しない
労働安全衛生法 通知対象物質	: イソプロピルアルコール 1.0%未満 2-(2-エトキシエトキシ)エタノール 3.0%未満 プロパン-1,2-ジオール 3.0%未満
労働安全衛生法 表示対象物質	: 2-(2-エトキシエトキシ)エタノール 3.0%未満 プロパン-1,2-ジオール 3.0%未満
その他の適用法令と化学品名称	: 該当しない

1 6. その他の情報

記載内容の取り扱い

本記載内容は現時点で入力できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険、有害性等に関しましては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は、通常取り扱いを対象にしたもので、特殊な取り扱いの場合には、用途、用法に適した安全策を実施の上、御利用ください。